

男女が平等な社会とは？

性別にこだわらず、とらわれず行動できる社会

女らしさ、男らしさにしばられず、
一人ひとりが自分らしく生きることのできる社会です。

21世紀は人権の世紀とも言われています。

いろいろな生き方や、違いを認め合い、
誰もが人権を尊重される社会の実現を目指しましょう。

※人権……人間が生まれながら持っている、命、自由、平等の権利



ジェンダー(gender)って？

社会的・文化的につくられた性別

長い歴史のなかで生まれた「女は、男は、こういうものだ」という通念や、「男性は外で仕事、女性は家庭の中で家事、育児」というような、固定的な役割分担意識のことをいいます。

私たちは、これまで「男性と女性は生まれながらに性質が異なる」と考えていましたが、それはつくられたものであることに気づきました。

ジェンダーは、あたりまえのように、私たちの意識や生活の中にとけ込んで、気づきにくいものです。ですから、私たちは、知らず知らずのうちにジェンダーにしばられたものの見方や言動をしています。

ジェンダーにとらわれない社会をめざすために私たちの意識や生活の中にある、ジェンダーに敏感に気づいて、なくしていく必要があります。



家庭の中のジェンダー

夫婦の関係に、伝統的な男女の上下関係や、「男は仕事、女は家事、育児」といった決めつけを持ち込んでいませんか？

例えば

- ・夫は、自分が家族を養っているという意識が強い
- ・台所は女の域だと思っている
- ・子供が小さいうちは母親が育てるのが良い

夫婦は、対等なパートナーとして、お互いに生活面でも、経済的にも自立した個人として支え合って暮らしていきたいですね。

例えば

- ・一緒にいるとお互いに楽しい
- ・意見が合わないときは両方が納得するまで話し合う
- ・子育ての方針は両方で話し合って決める

子育ても、「男らしさ、女のらしさ」にこだわって育てていませんか？

子供一人ひとりの個性を尊重し、能力を生かしながらのびのび育てましょう。



学校の中のジェンダー

学校は、男女平等と考えられていますが、学校の生活では行動や役割、さらに将来の可能性を性別で分け、固定的にとらえてしまうことがありますか？

例えば

- ・男子に「女子に負けるな」と励ますつもりで言う
- ・理系は男子、文系は女子が向いていると思う
- ・はっきり意見を言ったり、リーダーになったりする女子は「生意気だ」と思われる
- ・「女の子だから」と言葉遣いや行儀について注意される

人間(自己)の可能性を広げることが、教育の重要な役割の一つです。学校も性別にとらわれず個人の可能性や能力をひろげる「ジェンダーにとらわれない学校」であることが望まれます。

例えば

- ・男女いっしょの混合名簿を取り入れ、性別によるグループ分けもなくす
- ・ジェンダーにとらわれず社会で多様に活動する人々を授業で紹介する
- ・女子にも男子にも、あたらしい進路や職業分野への積極的な指導をする



職場の中のジェンダー

職場における女性差別は、雇用機会均等法や労働基準法などによって禁止されています。しかし、いまだに女性を男性より低くみる意識や、性別に基づいて仕事を分担するというジェンダーにとらわれた慣行が残っていませんか？

例えば

- ・お茶くみやコピーなどの雑用は、女性の仕事
- ・重要な仕事は、女性には任せない
- ・研修や昇進試験は、男性が優先
- ・若手女性職員を“職場の花”的な扱いをする

差別がなく、女性がいきいきと働き、十分に能力を発揮することができる職場は、女性だけでなく男性にとっても働きやすい職場です。女性も男性も人格を尊重しあいながら働きやすい職場環境をつくりましょう。



『働く女性のジェンダー』

地域や社会の中のジェンダー

地域や社会生活で「代表や責任者は男性、女性は補佐役・雑用係」など、役割がきまっていますか？

このような区別や差別は長い歴史の中で形成され、私たちの生活に根をはっているため、ふだんは気づかず見過ごされています。

例えば

- ・会合のお茶の準備、片づけは、女性の仕事
- ・一家を代表するものには、男性(夫)の名前を書く
- ・地域の行事では、女性は裏方、表舞台は男性

地域は暮らしの場です。人々が住み、子供が育ち、隣近所のつきあいや買い物などさまざまな日常生活のいとなみが行われています。みんなが楽しく安心して暮らせるように、女性も男性も役割を担い協力し住み良い地域づくりをしていきましょう。

例えば

- ・女性も男性も自分の意見を出し合って決める
- ・慣例にとらわれず、あたらしい方法も取り入れられる
- ・女性も自治会の役員や会長を受けることに抵抗がない



『働く女性のジェンダー』

メディアの中のジェンダー

マス・メディアが描く女性像・男性像には、性別による差別や偏りがたくさんあります。女性をもっぱら性的な存在とみなして外見・身体のみを重視し、いわばモノとして男性の視線で見られることは、多様な側面を持つ女性の人格を無視することではありませんか？

例えば

- ・ドラマなどで「男性は仕事、女性は家事、育児」という役割が当たり前
- ・若さや性的魅力だけが女性の価値のように表現されている
- ・CMなどで、人目を引くために、女性の水着姿が多く使われている



私たちは、メディアに対してこうしたジェンダーにとらわれた表現をやめるように働きかけ、変えていくことが重要です。

メディア・リテラシー

マス・メディアの流す内容を、ジェンダーに敏感な視点で解読・批判し、活用する能力と、自分たちの伝えたいことをメディアを使って発信すること。

